

## 質 疑 回 答 書 ( 工 事 )

関係者各位

宮崎市上下水道局 下水道部 下水道施設課長  
(公印省略)工 事 名 柳丸中継ポンプ場沈砂設備外改築工事  
工事場所 宮崎市柳丸町392-6

下記のとおり回答いたします。

質 疑 事 項	回 答
【特記仕様書】P.11 第2章第4節 特記事項 仮設期間(4ヶ月)の沈砂およびし渣の1日の最大発生量および平均発生量をご教示ください。	沈砂 1日の最大発生量:0.1t以下(晴天時) 0.4~0.6t(雨天時) 2.4t(大雨時) 1日の平均発生量:0.1~0.3t し渣 1日の最大発生量:0.01t~0.02t 1日の平均発生量:0.01t~0.02t
【特記仕様書】P.11 第2章第4節 特記事項 沈砂かき揚げ機の運転時間(運転頻度)をご教示ください。	晴天時:3時間間隔で5分運転 雨天時:30分~90分間隔で6分運転
【特記仕様書】P.12 第3章第1節1. 沈砂搬出機 No.1 現状の実際の流水量をご教授ください。	流量計等の測定器を設置していないため実際の流水量は不明です。参考としてポンプ能力は380L/minになります。
特記仕様書】P.32 第5章第1節 撤去機器 P.34 第5章第3節 配管(撤去) 「スクラップの対象となるものについては、指定する仮置き場に仮置きする」との記載がありますが、「本工事費内訳書」には「スクラップ費」の記載があります。 仮置き場にて引き渡しでしょうか?受注者の自由処分でしょうか?	受注者の自由処分としています。 撤去後に施設内に一時仮置きが必要な場合は、指定した場所に仮置きするようお願いします。

<p>【特記仕様書】 P. 35 第 6 章第 1 節 沈砂搬出 P. 37 第 6 章第 2 節 し渣搬出 3. 仮設期間</p> <p>共に仮設期間が 4 ヶ月との記載がありますが、これらは同一期間の 4 ヶ月と考えます。当該仮設が対応可能な期間（4 ヶ月）をご教授ください。</p>	<p>同一期間の 4 ヶ月で考えています。</p> <p>仮設対応可能な期間については、仮設で沈砂及びし渣が搬出可能になれば運転に支障はないと考えていますので、特に期間の指定はありません。</p>
<p>【特記仕様書】 P. 36 第 6 章第 1 節 沈砂搬出 5. 留意点</p> <p>「既設流水トラフ中に半割り管を設ける等の改造を要するため、1 週間程度沈砂の搬出が出来ない期間が生じる」との記載がありますが、実際は既設流水トラフ（No.1 沈砂搬出機）の「撤去」「更新」の間中も仮設半割り管（350A）は必要となるため、「1 週間の沈砂搬出が出来ない期間」を複数回繰り返しながら「撤去」および「更新」工事を実施可能なものと考えます。</p>	<p>仮設を設置するのに要する期間（既設を停止し仮設で搬出可能になるまで）として 1 週間程度を考えています。</p> <p>仮設設置後（撤去・更新中）は仮設にて随時搬出可能な状態にするよう考えています。</p>
<p>【発注図】 M-2,3 洗浄水管（SGPE50A）</p> <p>洗浄水管（SGPE50A）の撤去更新においては、同一の配管ルートとなるため、別配管との共通サポートについては既設流用するものと考えます。</p>	<p>洗浄水管（SGPE50A）は、仮設でも使用する想定のため共通サポートの流用は不可と考えています。</p> <p>仮設用給水配管を既設配管と別で布設する場合は流用可能です。</p>
<p>【その他】 現場事務所</p> <p>中継ポンプ場内の緑地帯（門扉左右 2 ヶ所のいずれか）に現場事務所の設置は可能でしょうか？その際、雨水耐水池スラブの耐荷重をご教授ください。</p>	<p>場内の緑地帯 2 ヶ所を仮設事務所設置場所として考えています。耐荷重については不明ですが、過去工事の実績として、2 連棟 1 階建（4.1×5.8）× 2 棟のハウスを建てた実績があります。</p> <p>詳細については運転管理者との協議後に決定させて頂いています。</p>
<p>【その他】 仮置き場</p> <p>中継ポンプ場内の緑地帯（門扉左右 2 ヶ所のいずれか）に撤去品や搬入機器の仮置きは可能でしょうか？また、雨水耐水池のスラブ耐荷重をご教授ください。</p>	<p>場内の緑地帯 2 ヶ所に仮置き可能です。また、撤去品や搬入機器の仮置き場としては、場内東側と南側のアスファルト舗装部にも仮置きした実績があります。</p> <p>詳細については運転管理者との協議後に決定させて頂いています。</p>

（担当者：下水道施設課 廣谷 康平）